

情報提供

那医発第 408 号
令和 5 年 10 月 10 日

施設長 各位

那覇市医師会
会 長 友利 博朗
担当理事 外間 浩



平素より医師会事業へのご支援ご協力賜り感謝申し上げます。
沖縄県医師会を通じて「「10代の妊娠・出産・子育て vol.2～若年出産のリアルと医療現場から見えること～」シンポジウム開催のご案内」の通知が届きましたのでご案内申し上げます。

☆ 問合せ先（那覇市医師会 事務局：宮城・前泊 / 電話 098-868-7579）

記

沖医発第 1013 号
令和 5 年 10 月 5 日

地区医師会担当理事 殿

沖縄県医師会
理事 徳永義光



「10代の妊娠・出産・子育て vol.2～若年出産のリアルと医療現場から見えること～」 シンポジウム開催のご案内

今般、一般社団法人あるより、標記文書が発出されましたのでお知らせ致します。

本件は、「10代の妊娠・出産・子育て vol.2～若年出産のリアルと医療現場から見えること～」シンポジウム開催のご案内についての通知となっております。

一般社団法人あるでは令和 4 年度より継続して、沖縄県子ども未来政策課より「若年妊産婦支援促進事業」を受託されております。

前年度は県内 41 市町村の所管課へ若年妊産婦支援に関する調査を行い、市町村における支援の課題について県内居場所関係者とより良い支援のあり方について検討されました。

今年度は、医療現場と当事者への調査からみえる現実（リアル）にケアの専門家の意見を交え、標記のシンポジウムが開催されます。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知の上、貴管下会員への周知方につきご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

記

「10代の妊娠・出産・子育て vol.2～若年出産のリアルと医療現場からみえること～」

日時：令和 5 年 11 月 30 日（木） 開場 13：00 開会 13：30

場所：沖縄県立博物館・美術館 2 階講堂

- 「10代の妊娠・出産・子育て vol.2～若年出産のリアルと医療現場からみえること～」
シンポジウム開催のご案内（令和 5 年 9 月 15 日（ある子未発第 010 号））

※関係文書は文書管理システムへ掲載致します。

沖縄県医師会事務局業務 2 課：赤嶺
TEL：098-888-0087
FAX：098-888-0089
g2@okinawa.med.or.jp



ある子未発第010号
令和5年9月15日

若年妊産婦支援関係機関各位

一般社団法人ある
代表理事 棚原喜美枝
(公印省略)

「10代の妊娠・出産・子育て vol.2 ～若年出産のリアルと医療現場から見えること～」
シンポジウム開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当法人では令和4年度より継続して沖縄県子ども未来政策課より「若年妊産婦支援促進事業」を受託しております。

前年度は県内41市町村の所管課へ若年妊産婦支援に関する調査を行い、市町村における支援の課題について県内居場所関係者とより良い支援のあり方について検討しました。今年度は、医療現場と当事者への調査からみえる現実（リアル）にケアの専門家の意見を交え、表記のシンポジウムを開催いたします。

つきましては、開催の日程やプログラムなどを記載したチラシをお送りしますので、ご査収いただき、支援者・関係者のみなさまへ広く周知いただけますようお願い申し上げます。

みなさまのご参加をお待ちしております。

敬具

記

- 1 シンポジウムのチラシ
- 2 一般社団法人あるのニュースレター

以上

【問い合わせ先】

受託団体：一般社団法人ある

担当：眞喜志、仲間

電話：090-4678-2663

E-mail：arukodomo@gmail.com

※なるべくメールでお問い合わせください

主催：沖縄県子ども未来政策課

担当：事業推進班 金子、石田

電話：098-866-2100

10代の妊娠・出産・子育て vol.2

若年出産のリアルと

医療現場からみえること

2023年11月30日(木)
開場13時00分 開会13時30分
沖縄県立博物館・美術館2階講堂
(那覇市おもろまち3-1-1)

どなたでも公共交通機関をご利用ください。

会場定員
200名
先着順

ハイ
ブリッド

入場
無料

新型コロナウイルス感染症の感染により、会場入場者を制限(無観客など)して開催する場合があります。

若年出産のリアルと医療現場からみえること

沖縄県における若年出産率は全国平均の2倍に上ります。「10代で母になること」を決めた彼女たちの言葉にならない「真実の姿(リアル)」を知り、みんなで支えることの重要性について考えます。

調査報告では、県内の出産を扱う医療現場に従事する、医師・助産師・医療ソーシャルワーカー等へ、若年出産当事者について、アンケート調査を行いました。医療現場からみえる「10代の妊娠・出産」の実情を報告します。

13:30 開会 調査報告

医療機関及び当事者への調査

① 医療機関における若年妊産婦支援に関する調査(調査担当:一般社団法人ある)

② 当事者の声を聞く「若いママの“今”」を調査するアンケート(調査担当:zeroplance合同会社)

14:00 パネルディスカッション

若年妊産婦に必要な支援とは

※15:00前後に休憩を設けます。

16:00 質疑応答

(16:30閉会)

パネリスト紹介



精神科医 白川 美也子 しらかわ みやこ

こころからだ・光の花クリニック院長。浜松医科大学医学部卒業後、独立行政法人国立病院機構構天竜病院精神科医長、浜松市精神保健福祉センター所長などを経て2013年現職。開業後も社会福祉領域との連携を継続し、児童相談所や児童養護施設や自立支援施設、出産育児を支援する婦人保護施設などでの電話勤務や複数の共働きの児童相談所群のコンサルテーションをしている。



フィードワーカー 武輪 敬心 たけわ けいこ

豊橋技術科学大学ダイバーシティ推進センター特任助教。奈良女子大学人間文化総合科学研究科社会生活環境学専攻博士課程修了(学術博士)。奈良県教育委員会スクールソーシャルワーカー、保育者養成校教員、自立援助ホーム運営委員などを経て2022年現職。大学勤務の傍ら、NPOなどもソーシャルワークONE TEAM副代表理事として社会的困窮にある家庭へのアウトリーチを中心に地域の人たちと協働。



産婦人科医 三浦 耕子 みうら こうこ

沖縄県立中部病院婦人科部長。弘前大学医学部卒業後、沖縄県立中部病院でキャリアをスタートさせる。沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター副医療統括を務める。



フアンシリテーター

本村 真 もとむら まこと

琉球大学人文社会学部教授。こども支援・政策研究研究所代表。

申込方法 11/27(月)締切

- ①氏名②電話番号
- ③所属④メールアドレス

⑤参加方法(会場・オンライン)をお書き添えの上、申込みフォームまたはメールでお申し込み下さい。

※諸般の事情で当日参加できなかった方向けに、お申し込みのメールアドレスにアーカイブ配信URLを送付予定です。



申込フォームのURL

プレ企画 開場13:00より

県内の「若年妊産婦の居場所」を動画で紹介!

- うるま市:cocomamaru ●沖縄市:ゆくるん
- 那覇市:10代ママの居場所 ねいろ(音色)
- 南風原町:ママ菜room ●宮古島市:ちいきの保健室 たね
- 石垣市:ママホッ!とステーション
- 沖縄県:一般社団法人おにわ ●広域:10代ママくらぶ

交流タイム

つながろう! 広げよう! 若ママ応援団!

シンポジウム終了後、登壇者を囲んで、参加されたみなさんとのフリートーク交流会を開催します。

【日時】2023年11月30日(木) 17:30 (閉会18:45)

【会場】カメカメキッチン (県立博物館・美術館2F)

■シンポジウム申込み時に合わせてお申込みください。申込みなしでの参加も可能ですが、定員の都合上ご入場いただけない場合がございますので、予めご了承ください。

■参加費500円(ワンドリンクオーダー制)会場にてお支払いください。

【主催】

◎沖縄県「令和5年度若年妊産婦支援促進事業」

【受託団体・問合せ先】一般社団法人ある

【メール】arukodomo@gmail.com 【電話】090-4678-2663

【運営協力】囲米ビデオ映像部



一人ひとりの「あるがまま」を大切にしたい

一般社団法人 **ある**

ある
ニューズレター
2023



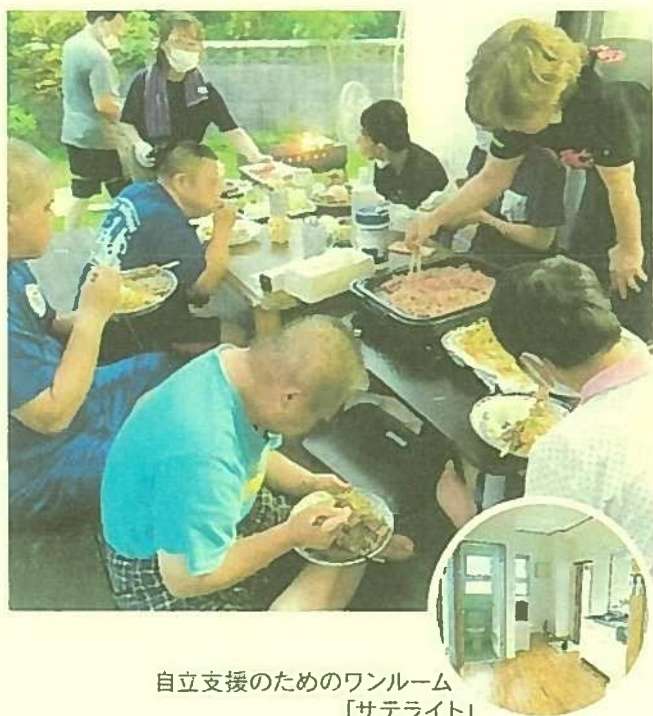
いつも当会にご協力ありがとうございます。昨年2022年もみなさまのご協力で、私たちの活動を様々な方向に発展することができました。おかげさまで、前身の「私らしいお産を考える会」のスタートから26年、一般法人化から2年が経過しました。2023年度もさらに飛躍の年となりそうです。今後とも厚いご協力のほど、よろしくお願いします。

一般社団法人ある スタッフ一同

2022年度の活動報告

シェアハウスあるところ

シェアハウスあるところ（グループホーム）では、サテライトハウスをオープンしました。現在ホームには4名の入居者とショートステイの利用があり、毎日真剣且つ、笑いの絶えない日々をすごしています。（写真はあるところガーデンバーベキューの様子。若者たちの就労支援と交流の場にもなっています。



自立支援のためのワンルーム
「サテライト」

10代ママくらぶ

毎月1回ずつ那覇と浦添の2箇所で開催中。多くのボランティアさんのお力添えを受け、継続13年目になります。ママたちの口コミで少しずつ広がり、参加者が増えています。毎月の成長を見せてもらえるのも嬉しいことです。



ばあばくらぶ

日曜預かり（グループ託児）の「ばあばくらぶ」も始動し、ママたちのリフレッシュを応援しています。ばあば（年齢問わずです笑）募集中！託児ボランティア養成講座も行っていますよ。



いのちの教室

2022年度もご依頼を受け、いのちの教室のプログラムを各所で開催しました。新型コロナの影響でしばらくは開催できませんでしたが、少しずつ復活しています（おきなわ女性財団「コミュニケーション講座」、沖縄市立あげだ児童館、児童福祉施設〈愛隣園〉、ゆいはあと中部など）。今後もご依頼を受け付けています。



令和4年度沖縄県若年妊産婦支援促進啓発シンポジウム

沖縄県の委託を受け、沖縄県内各市町村における若年妊産婦支援に関する調査を行い、その結果報告と「10代の妊娠・出産・子育てについて考える」と題した、シンポジウムを2023年2月1日（水）に、沖縄県立博物館美術館・講堂にて行いました。会場とオンラインで計430名余りの参加がありました。



グリーフワーク・ケア

誕生（流産・死産・新生児死亡）によりお子様を亡くされた方とその家族を対象とした「集い」を「星の光のファミリー」と共同で毎月開催しています。また、個別の対面相談やオンライン相談を随時実施の他、グリーフBOOK「赤ちゃんとお別れによりそって」を発行し、病院・行政等を通して当事者へ配付しています（事業実施20年目）。



☆運営スタッフ（左から池間・安里・兼次）



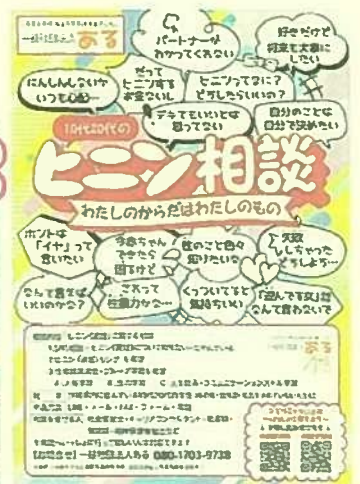
10代20代のヒニン相談

2022年より内閣府補助事業に採択され、10・20代女性を中心とした避妊相談に取り組んでいます。避妊リング代の補助・病院同行・コンドームの配付の他、包括的性教育（人権・性・人生設計／コミュニケーション学習）を個人や母子寮・児童養護施設・学童保育園・中学校・高校・大学等にて実施中です。詳細はHPをご覧ください。

ひとりじゃないよ☆
～いっしょに考えよう～



☆講座スタッフ（左から照屋・伊佐）



なかぐすくパパママ応援託児サポート

中城村から託児サポート事業の委託を受けました。

受託助成金・ご寄付

①那覇市／新型コロナウイルス感染症対策市民活動チャレンジ助成事業

【コロナを乗り越える!!若年妊産婦応援事業】

泊高校のご協力の元、校内で学生を対象に「物資支援」と「避妊相談説明会」を実施



②沖縄県共同募金会／りゅうちゃん子どもの希望募金

【若年妊産婦支援事業「10代ママくらぶ」ファミサポ等利用料支援】



③沖縄県共同募金会／新型コロナウイルス対策活動助成事業

【若年妊産婦支援事業「10代ママくらぶ」育児消耗品等支援】

ママたちの自宅へ、スタッフ他、学校の先生・保健師さんにも協力いただき配付しました。



④沖縄女性の翼OK基金／シェルター利用者の食糧費

～その他、連携団体さまより～

⑤フードバンクセカンドハーベスト様／お米

⑥コスメバンクプロジェクトさま／コスメグッズ

⑦俳優スクール「01 ENTERTAINMENT」さま／クリスマスケーキ(サンタ

クロースが30世帯を訪問しお手渡し)、後日商品券を30世帯へ配付



⑧AWWA (American Welfare & Works Association) さま／車両購入

費の助成金を受けました



⑨多くの個人さま(先輩ママたち)／ベビー服・家電製品・生活用品・寝具

等のリユース寄贈、生理用ナプキン、タオル等の新品寄贈

⑩沖縄の子どもたちに贈るチャリティーコンサート実行委員会さまはじめ

ご参加の皆さま数々のご寄付、ご協力、本当にありがとうございました。



○公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンさま／ハローベビーボッ

クス(新生児用品セット妊婦7人分)

○開南カトリック教会さま／寄付金、ミルク、おむつ

○生理の貧困を考える会さま／生理用ナプキン

○毎月ご寄付くださるサポーターさま34名および、にじのはしファンド

より21名のサポーターさまが登録くださいました!



必要としているママたちのもとへ 暖かい気持ちをお届けしました



2023年度の活動

アフターケア相談室 にじのしずく

社会的養護自立支援事業「にじのしずく」が、NPO法人にじのはしファンドから、当法人の活動になりました。夕食を調理して食べながらみんなで交流する「金ちゃんラーメンの会」を毎週金曜日に開催するほか、就労支援や北部での交流会なども行なっています。



理事の紹介

本年は以下皆さんの協力を得て、事業を運営しています。

■代表理事

棚原 喜美枝 (保育士、社会福祉士、精神保健福祉士
障害福祉サービス相談支援専門員)

■理事

本村 真 (沖縄県子どもの貧困対策検討委員会座長、琉球大学教授、
シングルマザーを応援するシェルター (通称おにわ) 共同代表)

島袋 春美 (開業助産師・保健師)

富名腰 義裕 (小児科医、にぬふあ保育園園長)

鎌田 晋 (眞喜屋法律事務所弁護士)

菊谷 愛子 (うえむら病院助産師、保健師、看護師、思春期相談士)

眞喜志 陽子 (那覇市赤ちゃん訪問員、DTPオペレーター)

安里 千恵子 (若年妊産婦支援事業総括責任者、産妊相談責任者、
キャリアコンサルタント、性の健康教育ファシリテーター)

■監事

狩俣 みつ穂 (公認心理師、社会福祉主事任用資格)

10代ママの居場所 ねいろ (音色)

那覇市からの委託を受け、5月24日に那覇市内に開所しました。拠点を持ち、5人のスタッフで運営しています。月火木金日・10～18時、送迎付きで、妊娠・出産・育児相談、調理実習、家計管理・生活・就学・就労のサポート、ママレスパイトのための休憩室・その間の託児、SNS相談等、個人のニーズに応じた相談・サポートを行っています。

愛称の「ねいろ」は、10代ママの皆さんへ公募し、当事者の投票で決定しました。



10代ママくらぶ (対象：沖縄県全域)

14年目も出会いの広がる活動を実施していきます!

毎月第1木曜日

毎月第3木曜日

那覇会場：ねいろ

浦添会場：Anne

令和5年度沖縄県若年妊産婦 支援促進啓発シンポジウム

昨年に引き続き沖縄県より受託し、居場所啓発事業に取り組んでいます。本年は医療関係へのアンケート調査を実施し、2023年11月30日に沖縄県立博物館・美術館にて調査報告とシンポジウムを予定しています。

【発行】一般社団法人ある

【住所】那覇市首里石嶺町2-66-1-105

【e-mail】aru030303@gmail.co.jp

【HP】<https://aru-okinawa.jp/>

【TEL】098-996-3182

HPが表示されます▶

「サポートのお願い」詳細も掲載しています



サポートのお願い

お預かりした皆様の温かい気持ちを集めて、こどもたちに届けます。

●毎月サポート

ご指定の銀行口座から毎月引落しをさせていただきます。(1口：1000円から)

右のQRコードを読み取り(外部サイト「リウコムweb口座振替受付サービス」が開きます)、入力いただくことでお申し込みできます。※琉球銀行・沖縄銀行のみ



●その都度のサポート

琉球銀行(真栄原支店/普通預金 523313)、沖縄銀行(我如古支店/普通預金 1738753) ゆうちよ銀行(記号17090/番号 18906541 (郵便局窓口またはATMから振込の場合)) 沖縄県労働金庫(浦添支店/普通預金 3444750) より、ご希望の金額をお振込ください。